記者発表資料

令和　４年　３月１４日
国　土　交　通　省
山形河川国道事務所

国道１３号 津久茂橋（つくもばし） 技術検討会の結果について
～　橋の架け替えが妥当　～

高畠町夏茂（たかはたまちなつも）地内の「国道１３号津久茂橋」は、災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支える緊急輸送道路であり、耐震性能の確保が重要な橋梁である。

しかし、現状の橋梁形式や現地条件など、厳しい条件下での対策となるため、課題解消に向け有識者による「国道１３号津久茂橋技術検討会※１」において対策案を検討し、以下のとおり取りまとめましたのでお知らせいたします。

【主な検討結果】
◯耐震性能を確保するためには、橋脚柱及び基礎、支承部の対策が必要であるが、河川条件や施工性、構造性から**既存の橋の耐震性能を確保することは困難**と判断。
◯対策案については、検討結果を踏まえ、**橋の架け替えが妥当**と判断。

※１「国道１３号津久茂橋技術検討会」

■委員（有識者）

黒田（くろだ）　充紀（みつとし）	山形大学大学院理工学研究科教授
千葉（ちば）　陽子（ようこ）	山形県立産業技術短期大学校 土木エンジニアリング科教授
渡邉（わたなべ）　一哉（かずや）	山形大学農学部食料生命環境学科准教授

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、
各委員に対して事務局で個別説明、書面での審議を実施。

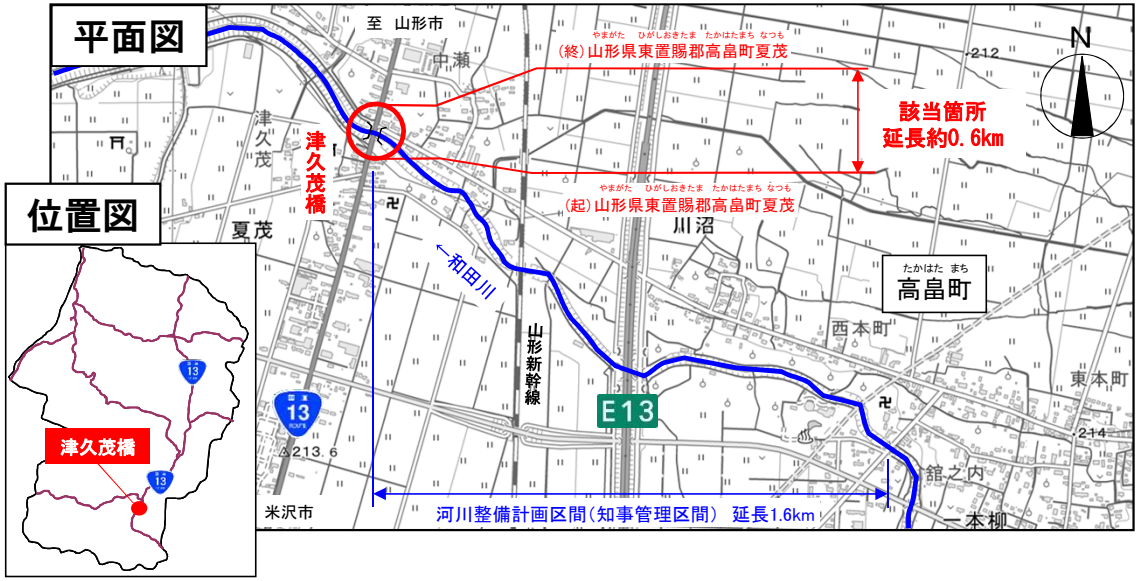
〈発表記者会：山形県政記者会〉

＜問い合わせ先＞

国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
副所長(道路担当)　田口（たぐち）　秀美（ひでみ）　TEL 023-688-8421（代表）（内線205）

国道１３号　津久茂橋　技術検討会

【主な検討結果】
〇耐震性能を向上させるためには、橋脚柱及び基礎、支承部の対策が必要であるが、河川条件や施工性、構造性から
　既存の橋の耐震性能を確保することは困難と判断。
〇対策案については、検討結果を踏まえ、**橋の架け替えが妥当**と判断。



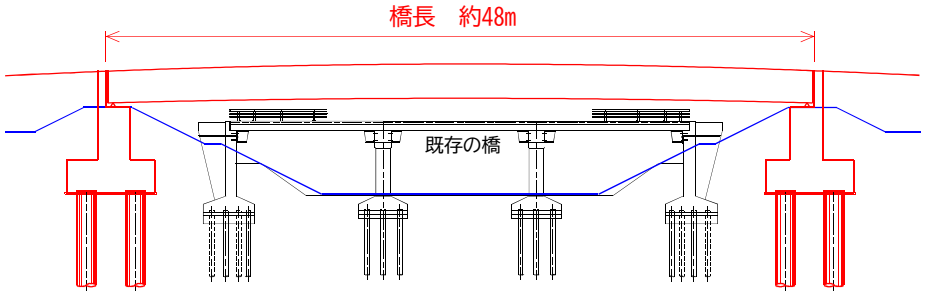


▲津久茂橋　橋梁全景(和田川上流側から)

検討部位	必要な対策	対策検討結果	耐震性能
橋脚柱部	巻立て工法	河川条件から補強不可能 (河積阻害超過)	耐震性能確保が不可能
橋脚基礎	増杭工法	施工性から補強不可能 (桁下空間狭小)	耐震性能確保が不可能
落橋防止構造	設置済み	―	耐震性能確保済み
支承部	支承交換、 水平力分担構造設置	構造性から補強不可能 (設置スペース不足)	耐震性能確保が不可能
橋梁全体としての耐震性能			耐震性能確保が不可能

架け替えが妥当

【計画側面図】



■架替概要
区　間：山形県東置賜郡高畠町夏茂
延　長：約０．６km
事業費：約４０億円　※河川管理者の負担額含む